

# 平成24年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	埼玉県		市町村類型	IV-1	指定団体等の指定状況		区分		平成24年度(千円)	平成23年度(千円)	区分		平成24年度(千円・%)	平成23年度(千円・%)						
					財政健全化等	×	歳入総額	49,314,320	47,001,466	実質収支比率	9.3	7.2								
市町村名	狭山市		地方交付税種地	2-8	財源超過	×	歳出総額	46,326,710	44,452,074	経常収支比率	89.7	89.4								
					首都	○	歳入歳出差引	2,987,610	2,549,392	(※1)	(100.5)	(98.5)								
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	494,018	611,067	標準財政規模	26,762,247	26,768,143								
					中部	×	実質収支	2,493,592	1,938,325	財政力指数	0.90	0.95								
人口	22年国調(人)	155,727	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	555,267	-1,258,239	公債費負担比率	9.5	9.5								
	17年国調(人)	158,074			過疎	×	積立金	1,132,711	2,566,768	健全化判断比率										
	増減率(%)	-1.5			山振	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-								
住民基本台帳人口(※7)	25.03.31(人)	155,237	第1次	22年国調	1,191	17年国調	1,442	低開発	×	積立金取崩し額	2,118,183	1,548,307	連結実質赤字比率	-	-					
	うち日本人(人)	153,397							指数表選定	○	実質単年度収支	-430,205	-239,778	実質公債費比率	3.7	5.0				
	24.03.31(人)	154,280	第2次		1.7	1.8				基準財政収入額	16,756,750	17,245,433	資金不足比率(※4)							
	うち日本人(人)	154,280			18,863	22,227					基準財政需要額	18,815,340	19,220,920							
	増減率(%)	0.6			26.7	28.2					標準税収入額等	21,589,829	22,117,049							
	うち日本人(%)	-0.6	第3次		50,599	53,632					経常経費充当一般財源等	25,867,870	25,884,709							
	面積(km <sup>2</sup> )	49.04			71.6	68.1					歳入一般財源等	35,101,936	35,951,156							
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	3,176																			
世帯数(世帯)	61,039																			
職員の状況																				
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	38,700,986	35,678,009									
	市区町村長	1	9,700		一般職員	767	2,682,966	3,498	うち公的資金	28,541,877	27,665,655									
	副市区町村長	1	8,150		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	16,741,214	18,903,054									
	教育長	1	7,500		うち技能労務職員	55	198,550	3,610	収益事業収入	60,000	50,000									
	議会議長	1	5,100		教育公務員	29	114,397	3,945	土地開発基金現在高	2,079,310	2,078,406									
	議会副議長	1	4,600		臨時職員	-	-	-	財政調整基金	4,638,795	5,624,267									
	議会議員	20	4,400		合計	796	2,797,363	3,514	積立金現在高	-	-									
					ラスバイレス指数(※6)		109.0	(100.7)		減債基金	-	-								
										その他特定目的基金	5,138,387	4,882,796								
	一般会計等の一覧																			
項番	会計名	事業会計の一覧		項番	会計名	公営企業(法適)の一覧		項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧		項番	組合等名	関係する一部事務組合等一覧	項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(3)	国民健康保険特別会計	(6)	水道事業会計	(9)	埼玉県後期高齢者医療広域連合	(16)	狭山市土地開発公社	(17)	財団法人狭山市施設管理公社									
(2)	狭山市駅東口土地区画整理事業特別会計	(4)	介護保険特別会計	(7)	下水道事業会計	(9)	埼玉県後期高齢者医療広域連合	(17)	財団法人狭山市施設管理公社											
		(5)	後期高齢者医療特別会計			(10)	埼玉県市町村総合事務組合	(18)	財団法人狭山市勤労者福祉サービスセンター											
						(11)	埼玉県市町村総合事務組合													
						(12)	彩の国さいたまづくり広域連合													
						(13)	埼玉県都市競艇組合													
						(14)	埼玉西部広域事務組合													
						(15)	埼玉西部広域事務組合													

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。  
 ※6: ラスバイレス指数の( )内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。  
 ※7: 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比
地方税	21,719,396	44.0	20,740,801	80.6	普通税	20,740,801	95.5
地方譲与税	334,072	0.7	334,072	1.3	法定普通税	20,740,801	95.5
利子割交付金	47,220	0.1	47,220	0.2	市町村民税	10,503,448	48.4
配当割交付金	47,499	0.1	47,499	0.2	個人均等割	230,507	1.1
株式等譲渡所得割交付金	13,684	0.0	13,684	0.1	所得割	8,573,066	39.5
地方消費税交付金	1,371,009	2.8	1,371,009	5.3	法人均等割	359,021	1.7
ゴルフ場利用税交付金	38,529	0.1	38,529	0.1	法人税割	1,340,854	6.2
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	9,100,340	41.9
自動車取得税交付金	145,708	0.3	145,708	0.6	うち純固定資産税	9,081,037	41.8
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	178,987	0.8
地方特例交付金	105,322	0.2	105,322	0.4	市町村たばこ税	958,026	4.4
地方交付税	2,307,833	4.7	2,055,942	8.0	釧産税	-	-
普通交付税	2,055,942	4.2	2,055,942	8.0	特別土地保有税	-	-
特別交付税	251,873	0.5	-	-	法定外普通税	-	-
震災復興特別交付税	18	0.0	-	-	目的税	978,595	4.5
(一般財源計)	26,130,272	53.0	24,899,786	96.8	法定目的税	978,595	4.5
交通安全対策特別交付金	24,503	0.0	24,503	0.1	入湯税	-	-
分担金・負担金	268,392	0.5	-	-	事業所税	-	-
使用料	760,567	1.5	129,614	0.5	都市計画税	978,595	4.5
手数料	240,650	0.5	-	-	水利地益税等	-	-
国庫支出金	6,041,860	12.3	-	-	法定外目的税	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	673,572	1.4	673,572	2.6	旧法による税	-	-
都道府県支出金	2,494,349	5.1	-	-	合計	21,719,396	100.0
財産収入	340,878	0.7	-	-			
寄附金	6,904	0.0	-	-			
繰入金	2,994,927	6.1	-	-			
繰越金	2,549,392	5.2	-	-			
諸収入	840,978	1.7	322	0.0			
地方債	5,947,076	12.1	-	-			
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-			
うち臨時財政対策債	3,116,476	6.3	-	-			
歳入合計	49,314,320	100.0	25,727,797	100.0			

区分		平成24年度	平成23年度
徴収率	現・計	98.4	92.8
(%)	年・計	97.9	90.9
		98.7	94.4

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	4,956,029	実質収支	1,149,698
下水道	1,046,028	再差引収支	-22,556
上水道	21,839	加入世帯数(世帯)	25,677
工業用水道	-	被保険者数(人)	45,826
交通	-	被保険者	82
国民健康保険	1,397,717	1人当り	72
その他	2,490,445	保険税(料)収入額	256
		国庫支出金	72
		保険給付費	256

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	334,564	0.7	-	334,564	
総務費	6,026,996	13.0	228,064	5,386,311	
民生費	16,211,568	35.0	405,273	9,231,690	
衛生費	3,801,764	8.2	202,879	3,272,512	
労働費	233,600	0.5	-	125,137	
農林水産業費	163,794	0.4	2,876	151,902	
商工費	650,802	1.4	4,751	333,058	
土木費	7,332,509	15.8	4,663,105	3,031,003	
消防費	1,869,289	4.0	281,764	1,629,196	
教育費	6,139,863	13.3	1,379,153	5,226,351	
災害復旧費	146,265	0.3	-	42,315	
公債費	3,415,696	7.4	-	3,350,287	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	46,326,710	100.0	7,167,865	32,114,326	

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	22,528,995	48.6	15,801,918	15,677,882	54.4
人件費	9,511,302	20.5	9,081,843	9,076,383	31.5
うち職員給	6,664,896	14.4	6,248,264	-	-
扶助費	9,601,997	20.7	3,369,788	3,251,212	11.3
公債費	3,415,696	7.4	3,350,287	3,350,287	11.6
元利償還金	3,415,696	7.4	3,350,287	3,350,287	11.6
内 うち元金	2,924,099	6.3	2,869,833	2,869,833	9.9
訳 うち利子	491,597	1.1	480,454	480,454	1.7
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	16,483,585	35.6	14,572,784	10,189,988	35.3
物件費	7,340,640	15.8	6,260,949	5,435,947	18.8
維持補修費	166,965	0.4	150,898	150,898	0.5
補助費等	2,565,439	5.5	2,398,924	1,904,654	6.6
うち一部事務組合負担金	40,394	0.1	40,340	40,340	0.1
繰出金	3,888,162	8.4	3,639,103	2,682,768	9.3
積立金	2,123,018	4.6	2,107,189	-	-
投資・出資金・貸付金	399,361	0.9	15,721	15,721	0.1
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	7,314,130	15.8	1,739,624	-	-
うち人件費	245,187	0.5	245,187	-	-
普通建設事業費	7,167,865	15.5	1,697,309	-	-
うち補助	2,915,943	6.3	218,672	-	-
うち単独	4,250,696	9.2	1,477,411	-	-
災害復旧事業費	146,265	0.3	42,315	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	46,326,710	100.0	32,114,326	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成24年度 埼玉県狭山市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	49,167	46,247	2,920	2,434	2,995	37,919	
2 狭山市駅東口土地区画整理事業特別会計	492	424	68	59	339	778	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							

# (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成24年度

埼玉県狭山市

人口	155,237人	(H25.3.31現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	153,397人	(H25.3.31現在)	実質赤字比率	-%
面積	49.04	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	3.7%
入総額	49,314,320	千円	実質公債費比率	6.0%
出総額	46,326,710	千円	市町村類型	H20 IV-3 H21 IV-3 H22 IV-3
実収	2,493,592	千円	(年度毎)	H23 IV-1 H24 IV-1
標準財政規模	26,762,247	千円		
地方債現在高	38,700,986	千円		

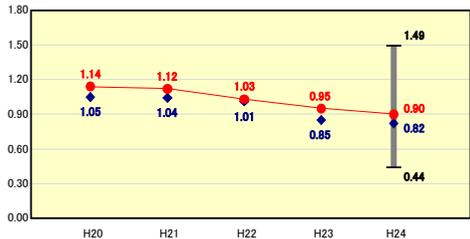


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

## 財政力

財政力指数 [0.90]

類似団体内順位 17/51 全国平均 0.49 埼玉県平均 0.77

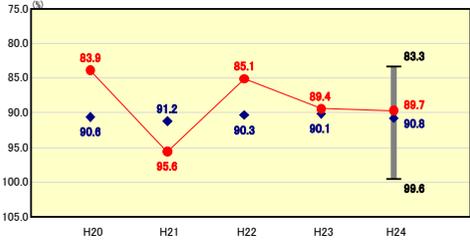


**財政力指数の分析欄**  
 財政力指数としては低下傾向にあるが、類似団体の平均を上回る0.90となった。引き続き景気低迷による減収が見込まれるが、市税徴収の強化等による歳入確保に努めるとともに、人件費、扶助費、公債費などの経費の削減の一層の節減に取り組み、更なる財政基盤の強化を図る。

## 財政構造の弾力性

経常収支比率 [89.7%]

類似団体内順位 16/51 全国平均 90.7 埼玉県平均 90.2

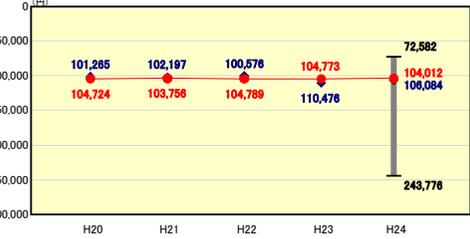


**経常収支比率の分析欄**  
 前年度とほぼ同水準で推移しており、類似団体平均をやや下回る89.7%となった。今後も引き続き人件費の抑制や事業の選択と集中による経費の削減を進めるとともに、市税等の財源確保に努める。

## 人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [104,012円]

類似団体内順位 27/51 全国平均 116,454 埼玉県平均 95,711

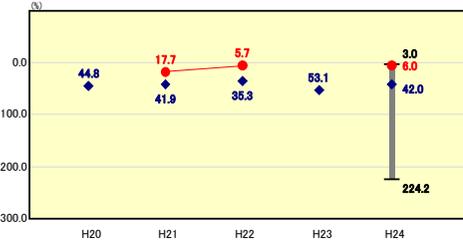


**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**  
 平成20年度より毎年ほぼ同じ数値で推移しており、類似団体平均を下回る104,012円となっている。今後指定管理者制度の効果的な活用、人件費の抑制などにより行政コストの削減に努める。

## 将来負担の状況

将来負担比率 [6.0%]

類似団体内順位 11/51 全国平均 60.0 埼玉県平均 41.4

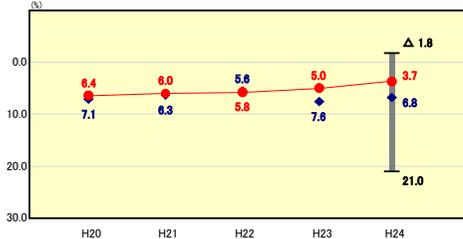


**将来負担比率の分析欄**  
 前年度より上昇し6.0%となったものの、依然として類似団体平均を大きく下回っている。昨年度より上昇した主な要因は、退職手当負担見込額の減少、債務負担行為に基づく支出予定額の増加等があげられる。今後も大規模事業に係る起債の償還開始に伴う比率の上昇が予想されることから、後世への負担を少しでも軽減するよう、適切な財政運営に努める。

## 公債費負担の状況

実質公債費比率 [3.7%]

類似団体内順位 13/51 全国平均 9.2 埼玉県平均 6.6

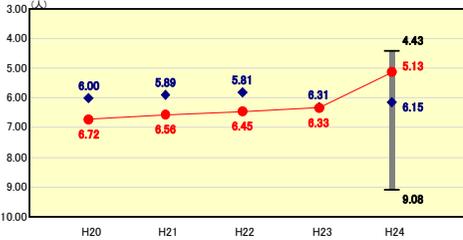


**実質公債費比率の分析欄**  
 起債対象事業の適切な選択の結果、前年度より1.3%減少し3.7%となり、類似団体平均を下回っている。今後は、大規模事業に係る新規借入が見込まれるが、引き続き世代間負担の公平化と償還額の平準化を図り、比率の急激な上昇を抑制するため、財政の健全性を確保する。

## 定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [5.13人]

類似団体内順位 9/51 全国平均 7.00 埼玉県平均 5.74

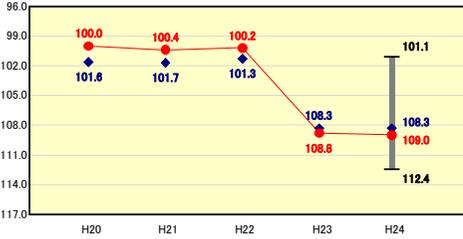


**人口千人当たり職員数の分析欄**  
 定員適正化計画に基づき、新規採用を抑制したほか、短時間勤務再任用職員の活用、行政評価による事務事業の見直し、民間活力の導入等を進めたこと及び消防広域化による消防職員の減員も加わり、類似団体平均を下回る状況となった。今後は、事務事業の見直しや業務の効率化、民間活力の導入、ITの活用、再任用職員の有効活用、職員の能力開発等の推進により、消防広域化による職員数を計画値から除いたうえで、平成23年度から27年度までの5年間で100人を削除することを目指し、さらなる定員管理の適正化に努める。

## 給与水準(国との比較)

ラスパイレズ指数 [109.0]

類似団体内順位 29/51 全国市平均 106.6 全国町村平均 103.2



**ラスパイレズ指数の分析欄**  
 類似団体平均と比較してやや高い水準にあるが、国家公務員の給与特例減額後の数字であり、減額前の数字は100.7であった。今後においても適正な給与水準を実現するため、高齢層の給与及び職別職員数の適正化に努める。

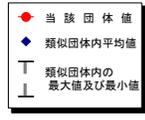
# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

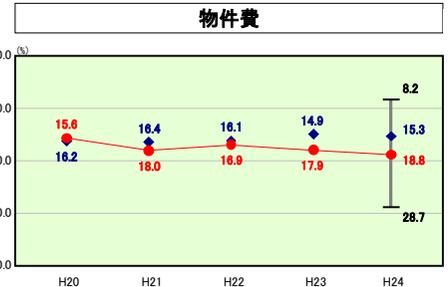
埼玉県狭山市

## 経常収支比率の分析

人口	155,237人	(H25.3.31現在)	実収支比率	-%
うち日本人	153,397人	(H25.3.31現在)	実収支赤字比率	-%
面積	49.04	km <sup>2</sup>	実収支公債費比率	3.7%
歳入総額	49,314,320	千円	実収支未償還比率	6.0%
歳出総額	46,326,710	千円	市町村類型	H20 IV-3 H21 IV-3 H22 IV-3
実収支	2,493,592	千円	(年度毎)	H23 IV-1 H24 IV-1
標準財政規模	26,762,247	千円		
地方債現在高	38,700,986	千円		

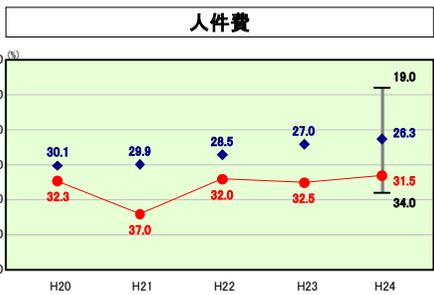


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。



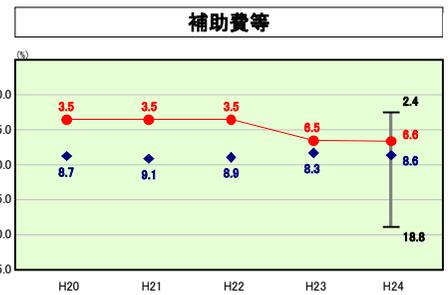
類似団体内順位 43/51 全国平均 13.3 埼玉県平均 17.1

**物件費の分析欄**  
 物件費に係る経常収支比率は、前年度より0.9%上昇し18.8%となっており類似団体平均をやや上回っており、全国平均、埼玉県平均と比較しても高い水準となっている。要因としては、平成26年1月より導入した総合窓口対応システム構築事業費や保育所給食調理業務委託料の増額等があげられる。



類似団体内順位 49/51 全国平均 24.8 埼玉県平均 26.1

**人件費の分析欄**  
 人件費に係る経常収支比率は、前年度より1.0%減少し31.5%となっている。主な要因としては、継続して行っている採用抑制等によるコスト削減があげられる。その効果により前年度と比較し人件費の決算額が減額となり、人件費の占める割合も小さくなったためである。



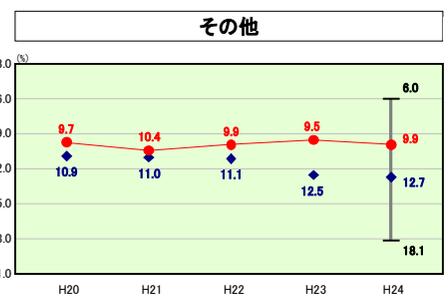
類似団体内順位 17/51 全国平均 10.1 埼玉県平均 8.9

**補助費等の分析欄**  
 補助費等に係る経常収支比率は、平成20年度より類似団体平均を下回っている。要因としては、各種団体への補助金について継続して見直しを行っており、不適当な補助金については減額や廃止を行っていることがあげられる。



類似団体内順位 21/51 全国平均 11.2 埼玉県平均 11.7

**扶助費の分析欄**  
 扶助費に係る経常収支比率は、前年度と同じ11.3%であり、全国平均、埼玉県平均とほぼ同じ水準となっている。訓練等給付費や生活扶助費、住宅扶助費等の増額があったが、児童手当(子ども手当)費の減額もあったため、結果としては数値が変わらなかった。今後についても支援を行いながら、引き続き効率的な財政運営に努める。



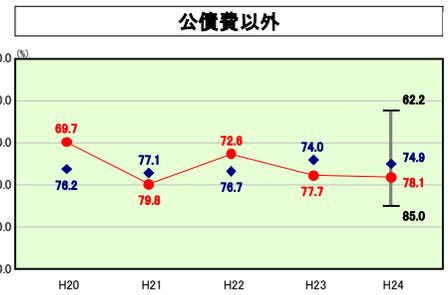
類似団体内順位 7/51 全国平均 12.5 埼玉県平均 11.6

**その他の分析欄**  
 その他に係る経常収支比率は、前年度より0.4%上昇しているが、類似団体平均を下回っている。後期高齢者医療特別会計等への繰出金が前年度と比較し増額となったこと、経常収支比率(合計)の微増に伴い、その他の占める割合も大きくなったものである。今後については税收を主な財源とする普通会計の負担額を減らしていくよう努める。



類似団体内順位 8/51 全国平均 18.8 埼玉県平均 14.8

**公債費の分析欄**  
 公債費に係る経常収支比率は、前年度とほぼ同じ11.6%であり、類似団体平均を大きく下回っている。今後、大規模事業に係る償還開始や新規借入に伴い平成28年度から33年度までの6年間でピークと見込まれることから、これまで以上に行政改革に取り組み、効率的な財政運営に努める。



類似団体内順位 40/51 全国平均 71.9 埼玉県平均 75.4

**公債費以外の分析欄**  
 公債費以外については、類似団体平均を上回っており、今後については各事業の見直しや効率的な運営を図り、歳出の抑制に努めることで経常収支比率(合計)の低下につなげていく。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

埼玉県狭山市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	9,511,302	61,270	58,765	▲ 4.3
賃金(物件費)	541,957	3,491	3,371	▲ 3.6
一部事務組合負担金(補助費等)	10,533	68	2,019	▲ 96.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	755	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	344,557	2,220	2,275	▲ 2.4
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	245,187	1,579	1,252	▲ 26.1
▲退職金	▲ 1,117,623	▲ 7,199	▲ 6,551	▲ 9.9
合計	9,535,913	61,428	61,886	▲ 0.7

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5.13	6.15	▲ 1.02
ラスパイレズ指数	109.0	108.3	0.7

(注) 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。(公債費及び普通建設事業費についても同様)

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

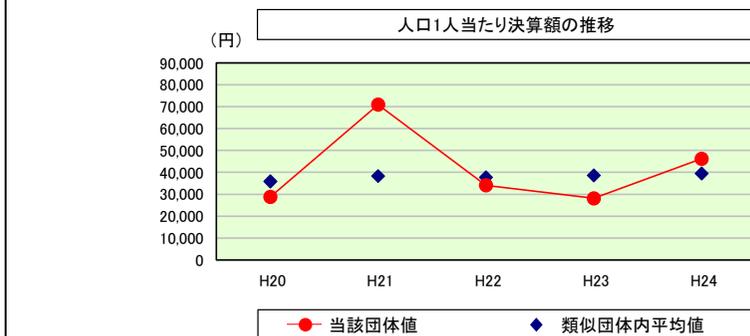


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3,411,724	21,978	33,032	▲ 33.5
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	5	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	35	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	710,942	4,580	8,209	▲ 44.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	1,116	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	185,534	1,195	1,711	▲ 30.2
一時借入金利子 (同一団体に於ける会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	4	-
▲特定財源の額	▲ 682,043	▲ 4,394	▲ 7,545	▲ 41.8
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 3,208,694	▲ 20,670	▲ 25,505	▲ 19.0
合計	417,463	2,689	11,063	▲ 75.7

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

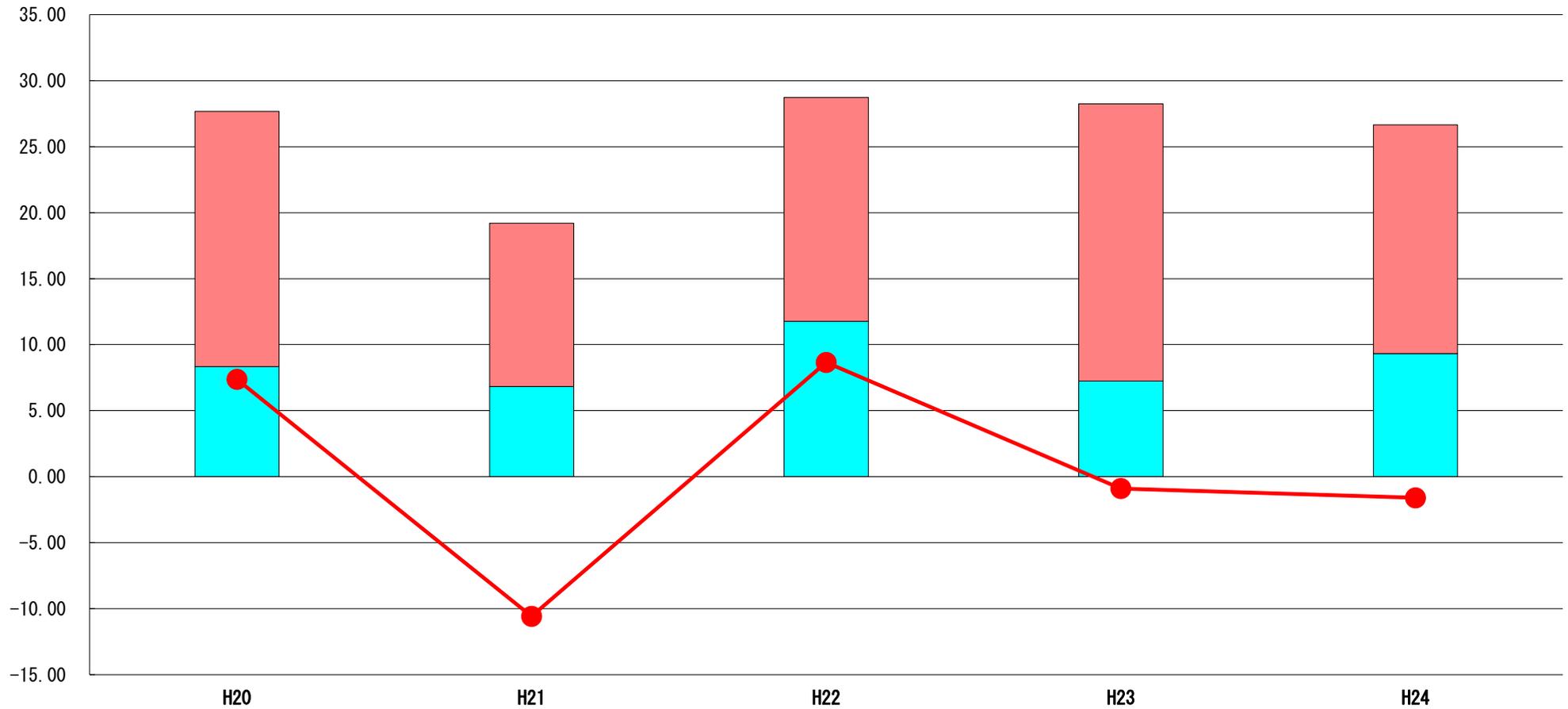
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H20	4,491,672	28,787	▲ 46.3	35,872	14.2	▲ 60.5
うち単独分	2,570,279	16,473	▲ 60.4	21,259	3.1	▲ 63.5
H21	11,024,076	70,946	146.5	38,349	6.9	139.6
うち単独分	4,849,789	31,211	89.5	22,585	6.2	83.3
H22	5,282,423	34,092	▲ 51.9	37,688	▲ 1.7	▲ 50.2
うち単独分	4,084,220	26,359	▲ 15.5	22,661	0.3	▲ 15.8
H23	4,336,699	28,109	▲ 17.5	38,606	2.4	▲ 19.9
うち単独分	3,687,523	23,901	▲ 9.3	22,435	▲ 1.0	▲ 8.3
H24	7,167,865	46,174	64.3	39,425	2.1	62.2
うち単独分	4,250,696	27,382	14.6	22,414	▲ 0.1	14.7
過去5年間平均	6,460,547	41,622	19.0	37,988	4.8	14.2
うち単独分	3,888,501	25,065	3.8	22,271	1.7	2.1

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成24年度

埼玉県狭山市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H20	H21	H22	H23	H24
 財政調整基金残高		19.34	12.38	16.96	21.01	17.33
 実質収支額		8.34	6.83	11.77	7.24	9.32
 実質単年度収支		7.37	▲ 10.59	8.65	▲ 0.90	▲ 1.61

## 分析欄

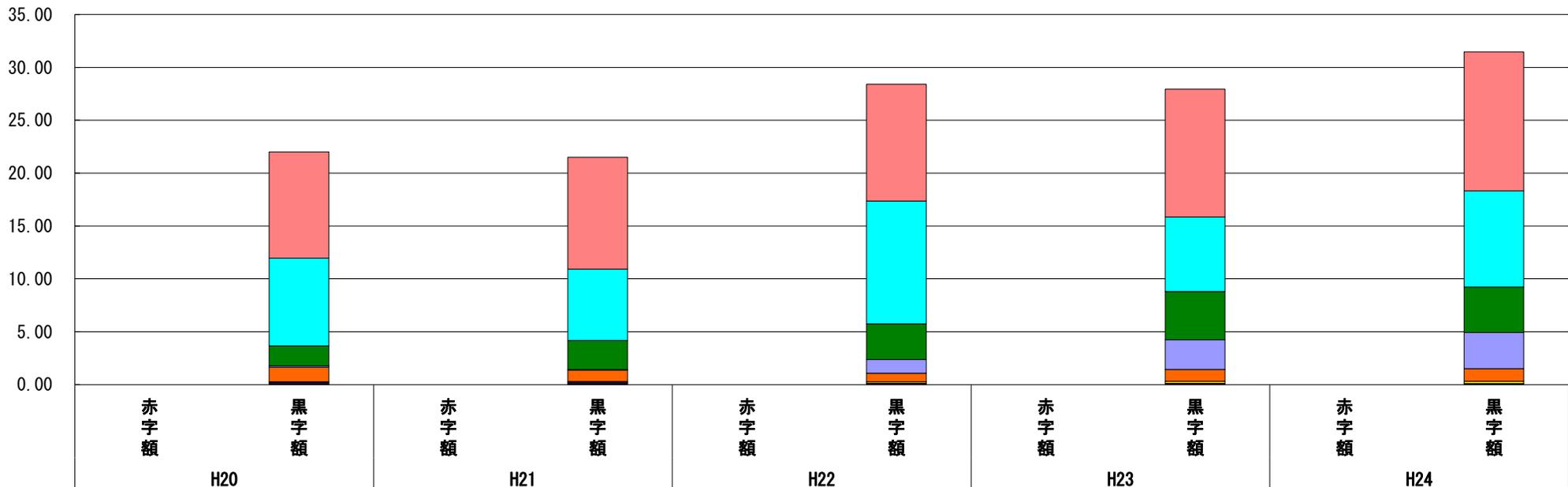
市有土地売払収入の増加等による歳入の増加に伴い、前年度と比較して、標準財政規模に対する実質収支比率が増加となったものの、財政調整基金繰入金の増加に伴い、標準財政規模に対する財政調整基金残高及び実質単年度収支の比率は減少している。  
 今後についても、引き続き行財政改革に取り組むとともに、市税等の財源確保に努め、安定した財政運営に努める。

# (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成24年度

埼玉県狭山市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H20	H21	H22	H23	H24
水道事業会計		10.05	10.59	11.05	12.09	13.13
一般会計		8.29	6.76	11.63	7.06	9.10
国民健康保険特別会計		1.88	2.74	3.36	4.56	4.30
下水道事業会計		0.14	0.04	1.30	2.80	3.43
介護保険特別会計		1.38	1.08	0.80	1.12	1.19
狭山市駅東口土地区画整理事業特別会計		0.06	0.07	0.14	0.19	0.22
後期高齢者医療特別会計		0.12	0.13	0.13	0.12	0.09
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.08	0.10	0.00	-	-

## 分析欄

連結実質赤字比率は前年度より3.51%減少し△27.93%となり、依然として全会計で実質収支が黒字となっている。  
今後においても収入の確保と内部経費の削減に努める。

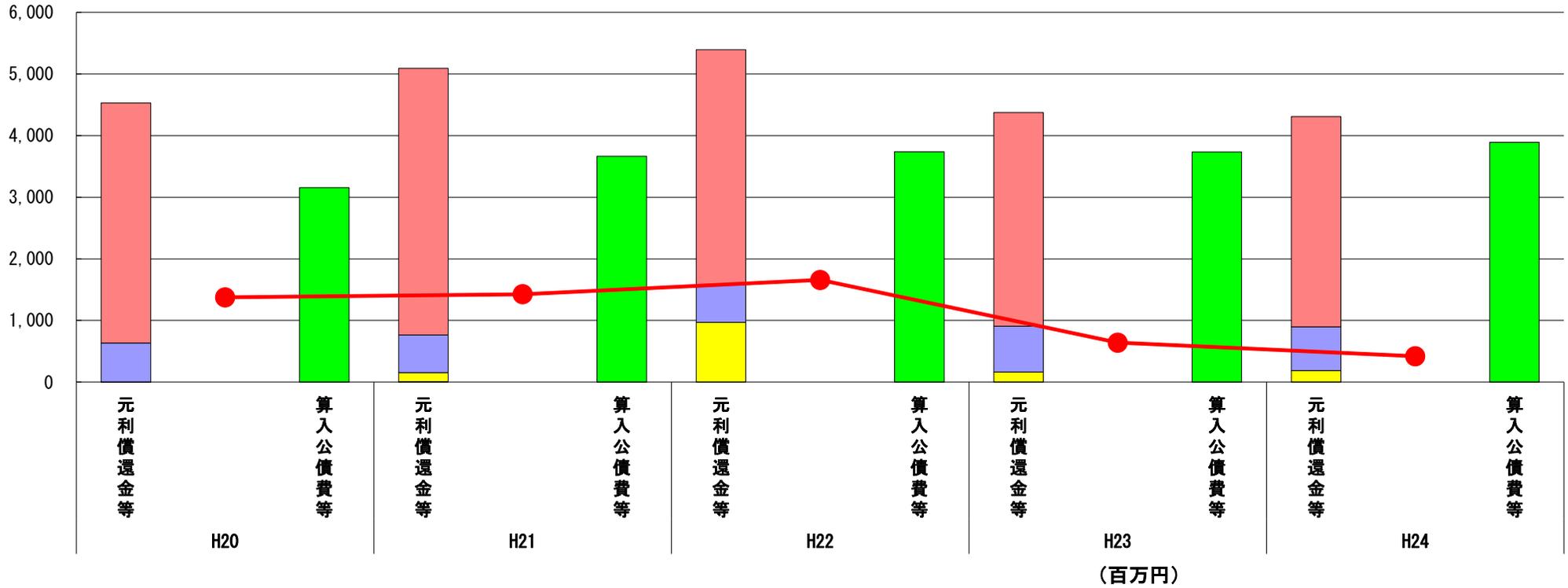
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

埼玉県狭山市

(百万円)



分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等 (A)	元利償還金		3,896	4,328	3,813	3,467	3,412
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		631	610	614	743	711
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		-	145	968	163	186
	一時借入金の利子		2	8	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		3,155	3,665	3,739	3,734	3,890
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,374	1,426	1,656	639	419

**分析欄**

過去の大規模事業に係る償還の完済等の結果、元利償還金が前年度より減少し、総体的に減額となっている。

今後は、大規模事業に係る新規借入が見込まれるが、引き続き起債対象事業の適切な選択に留意しつつ世代間負担の公平化と償還額の平準化を図り、財政の健全性を確保する。

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

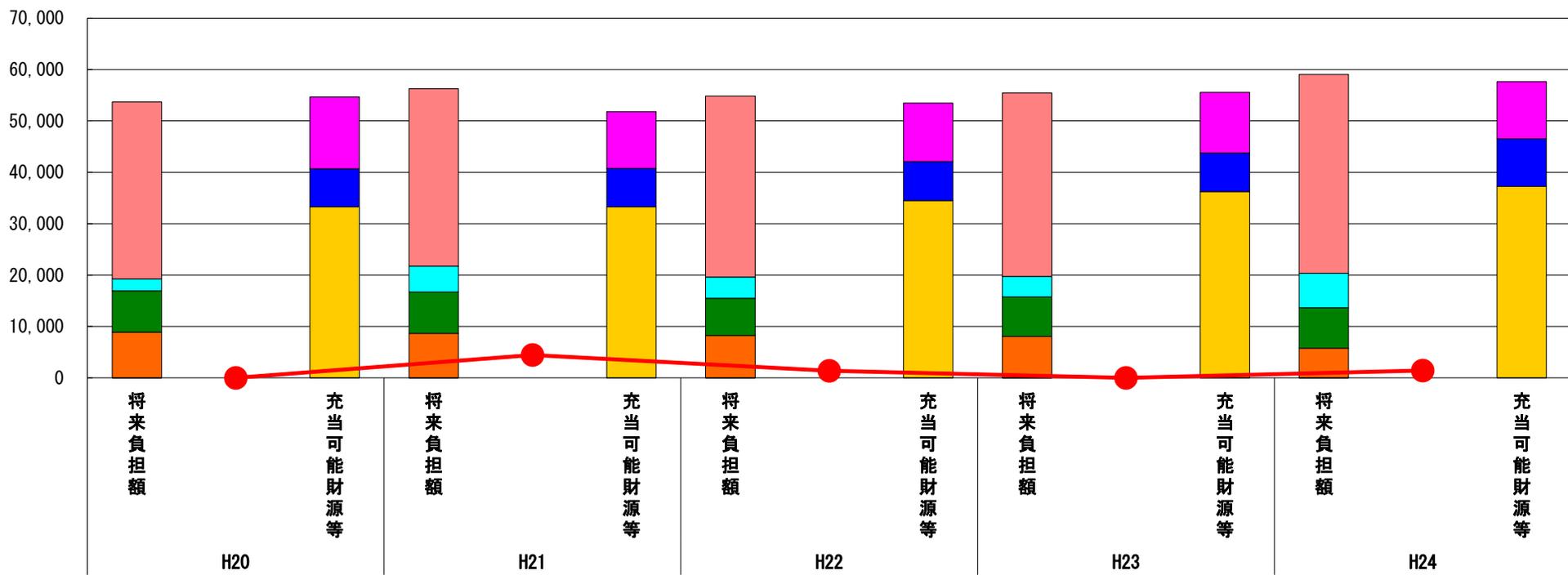
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

埼玉県狭山市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高		34,439	34,492	35,207	35,671	38,698
	債務負担行為に基づく支出予定額		2,333	5,029	4,121	4,004	6,716
	公営企業債等繰入見込額		8,024	8,065	7,249	7,699	7,861
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		8,862	8,634	8,247	8,050	5,764
	設立法人等の負債額等負担見込額		30	30	8	13	13
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金		13,962	11,057	11,355	11,814	11,110
	充当可能特定歳入		7,381	7,430	7,609	7,495	9,279
	基準財政需要額算入見込額		33,307	33,308	34,486	36,243	37,235
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 964	4,456	1,381	▲ 115	1,428

### 分析欄

前年度と比較し、充当可能財源が約21億円増加したものの、狭山市駅西口周辺整備事業に伴う地方債の現在高や債務負担行為に基づく支出予定額の増加などにより将来負担額が約36億円の増額となったため、将来負担率の分子としては全体で約15億円増加した。  
 今後は大規模事業にかかる地方債等が将来負担額に算入され、比率の上昇が予想されるが、事業の見直し等を行い、適切な財政運営に努める。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。